



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月14日

上場会社名 株式会社MORESCO

上場取引所

東

コード番号 5018

URL <https://www.moresco.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 両角 元寿

問合せ先責任者（役職名） 取締役 常務執行役員（氏名） 藤本 博文（TEL）078-303-9220

半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 2025年11月11日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期中間期	16,865	△1.4	949	41.5	922	△4.5	506	△12.1
2025年2月期中間期	17,102	11.2	671	27.0	965	3.4	576	1.1

（注）包括利益 2026年2月期中間期 △437百万円（－％） 2025年2月期中間期 1,877百万円（40.2％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	55.15	—
2025年2月期中間期	62.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年2月期中間期	36,574	24,336	57.8	2,303.99
2025年2月期	38,297	25,009	56.6	2,364.63

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 21,144百万円 2025年2月期 21,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2026年2月期	—	20.00			
2026年2月期（予想）			—	25.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	36,500	6.2	1,750	25.8	2,100	15.3	1,300	28.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) 一 、除外 1社(社名) 無錫德松科技有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	9,696,500株	2025年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	519,320株	2025年2月期	525,810株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	9,173,013株	2025年2月期中間期	9,170,391株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

2025年10月20日に、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表および主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書および中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結会計期間)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(中間連結会計期間)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当中間期における連結範囲の重要な変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 製品およびサービスに関する情報	10
(2) 海外売上高	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国との関税交渉の妥結を受けた不透明感の緩和から安定的に推移しました。一方で米国関税の増額により製造業の企業収益は圧迫されました。世界経済においては、米国による関税政策が世界経済に及ぼすマイナスの影響、中国の景気減速、ウクライナ戦争や不安定な中東情勢による資源価格の上昇懸念があり、先行きの景気は、不透明な状況が続くことが想定されます。

このような状況のもと当社グループにおいては、国内外で自動車生産台数が減少したことなどを受け、売上高は16,865百万円(前年同期比1.4%減)となりましたが、販売価格の是正、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は949百万円(前年同期比41.5%増)となりました。一方で、為替差損の影響により、経常利益は922百万円(前年同期比4.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は506百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

特殊潤滑油部門は自動車生産が低調なことにより作動油、ダイカスト油剤で数量が減少したものの、切削油剤の新規拡販やデータセンター向けハードディスク表面潤滑剤の売上高が増加したことで、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。ホットメルト接着剤部門では、衛生材料用途の販売の減少により、減収となりました。素材部門は、販売価格の是正および主にポリスチレン可塑剤用途向けの需要回復により流動パラフィンが増収となったことで、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。その他部門では、廃水処理装置の販売が減少したことにより減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は10,788百万円(前年同期比0.1%減)となり、セグメント利益は583百万円(前年同期比55.4%増)となりました。

② 中国

特殊潤滑油は真空油剤、切削油剤などの売上高が増加した一方で、日系自動車メーカーの稼働率が低下し、ダイカスト油剤で販売が減少したことにより、売上高は前年並みとなりました。ホットメルト接着剤は、主要顧客での需要減少により、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,767百万円(前年同期比0.2%減)となりましたが、中国現地法人の再編による合理化が進んだことにより、セグメント利益は139百万円(前年同期比170.4%増)となりました。

③ 東南／南アジア

特殊潤滑油は、新規拡販の進展により主に切削油剤の売上高が増加したことで増収となりました。ホットメルト接着剤は主要顧客での需要減少により衛生材料用途の売上高が減少したことで、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,260百万円(前年同期比1.9%減)となり、セグメント利益は102百万円(前年同期比13.0%減)となりました。

④ 北米

特殊潤滑油は自動車生産台数の減少による主要顧客での需要の落ち込みにより、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,050百万円(前年同期比13.5%減)となり、セグメント利益は102百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,723百万円減少し、36,574百万円となりました。これは主に、現金及び預金が439百万円、棚卸資産が577百万円、有形固定資産が634百万円、無形固定資産が125百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,050百万円減少し、12,238百万円となりました。これは主に、仕入債務が248百万円、短期借入金が139百万円、長期借入金が502百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて673百万円減少し、24,336百万円となりました。これは主に、利益剰余金が277百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が829百万円、非支配株主持分が132百万円それぞれ減少したことによるものです。

2. 中間連結財務諸表および主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,508	5,068
受取手形及び売掛金	7,005	6,896
電子記録債権	1,126	1,260
商品及び製品	4,044	3,731
原材料及び貯蔵品	3,082	2,819
その他	511	605
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	21,260	20,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,183	4,869
機械装置及び運搬具(純額)	2,141	1,893
土地	2,528	2,493
その他(純額)	563	524
有形固定資産合計	10,414	9,780
無形固定資産		
のれん	543	474
その他	828	772
無形固定資産合計	1,372	1,247
投資その他の資産	5,251	5,186
固定資産合計	17,037	16,212
資産合計	38,297	36,574
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,544	4,256
電子記録債務	456	496
短期借入金	3,177	3,039
未払法人税等	233	194
賞与引当金	537	539
その他	1,415	1,212
流動負債合計	10,362	9,736
固定負債		
長期借入金	1,940	1,438
退職給付に係る負債	548	524
その他	438	540
固定負債合計	2,926	2,502
負債合計	13,288	12,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,972	1,972
利益剰余金	15,273	15,549
自己株式	△649	△641
株主資本合計	18,714	18,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	181
為替換算調整勘定	2,210	1,381
退職給付に係る調整累計額	616	584
その他の包括利益累計額合計	2,972	2,146
非支配株主持分	3,324	3,192
純資産合計	25,009	24,336
負債純資産合計	38,297	36,574

(2) 中間連結損益計算書および中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	17,102	16,865
売上原価	12,201	11,743
売上総利益	4,901	5,122
販売費及び一般管理費	4,230	4,173
営業利益	671	949
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	18	22
持分法による投資利益	92	85
為替差益	149	—
補助金収入	57	42
その他	62	23
営業外収益合計	396	191
営業外費用		
支払利息	36	29
為替差損	—	179
その他	66	12
営業外費用合計	102	219
経常利益	965	922
特別損失		
投資有価証券評価損	47	3
特別損失合計	47	3
税金等調整前中間純利益	917	919
法人税、住民税及び事業税	219	311
法人税等調整額	54	42
法人税等合計	274	353
中間純利益	644	566
非支配株主に帰属する中間純利益	68	60
親会社株主に帰属する中間純利益	576	506

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	644	566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	35
為替換算調整勘定	1,141	△912
退職給付に係る調整額	△25	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	126	△94
その他の包括利益合計	1,233	△1,003
中間包括利益	1,877	△437
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,624	△320
非支配株主に係る中間包括利益	253	△117

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	917	919
減価償却費	643	599
持分法による投資損益 (△は益)	△92	△85
有形固定資産売却損益 (△は益)	△6	△7
投資有価証券評価損益 (△は益)	47	3
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△29	△51
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	1
受取利息及び受取配当金	△36	△40
支払利息	36	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△487	△291
棚卸資産の増減額 (△は増加)	23	326
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21	△160
その他	301	△43
小計	1,287	1,205
利息及び配当金の受取額	89	40
利息の支払額	△36	△31
法人税等の支払額	△266	△315
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,074	899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	70	△10
有形固定資産の取得による支出	△253	△400
有形固定資産の売却による収入	7	7
無形固定資産の取得による支出	△104	△33
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△12	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△295	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△101	222
長期借入金の返済による支出	△738	△817
自己株式の取得による支出	△100	△0
配当金の支払額	△231	△229
非支配株主への配当金の支払額	△31	△15
その他	△15	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,216	△879
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△502	△450
現金及び現金同等物の期首残高	5,566	5,508
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,064	5,058

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間期における連結範囲の重要な変更)

当社の連結子会社であった無錫德松科技有限公司は、2025年2月14日を効力発生日として、莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当中間連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を当中間連結会計期間の期首から適用しています。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南／ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,796	1,771	3,322	1,213	17,102	—	17,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	842	258	5	8	1,113	△1,113	—
計	11,638	2,029	3,327	1,221	18,215	△1,113	17,102
セグメント利益	375	51	117	129	673	△2	671

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円には、セグメント間取引消去3百万円、棚卸資産の調整額△4百万円および貸倒引当金の調整額△1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南／ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,788	1,767	3,260	1,050	16,865	—	16,865
セグメント間の内部売上高 又は振替高	727	185	6	2	920	△920	—
計	11,515	1,952	3,266	1,052	17,785	△920	16,865
セグメント利益	583	139	102	102	926	24	949

(注) 1. セグメント利益の調整額24百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額24百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当中間連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
特殊潤滑油	9,804	101.8%
素材	2,243	106.1%
ホットメルト接着剤	3,815	91.9%
エネルギーデバイス材料	161	153.8%
その他	841	76.2%
合計	16,865	98.6%

(2) 海外売上高

当中間連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
Ⅰ. 海外売上高(百万円)	5,763	1,156	99	7,018
Ⅱ. 連結売上高(百万円)				16,865
Ⅲ. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	34.2	6.9	0.6	41.6

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、マレーシア、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、南アフリカ共和国、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。